

Yさん（A中学校）

英語科の授業における平和教育の実践

～ 地域の財産を教材として活用することを模索して ～

1 はじめに

英語の教科書には、地雷問題や広島原爆など、平和に関する題材が扱われている単元がいくつかある。本レポートは、それらの単元の1つ、広島原爆を扱った3学年のLesson 4 “The Story of Sadako” の授業に、地域素材をどのように教材化したかについての報告である。

2 教科における平和教育の実践

上記にあげたように平和に関する学習が行える単元を大切に考え、教師用指導書を参考にだけでなく、UNICEF（ユニセフ）やWFP（世界食糧計画）などから入手した資料や書籍を参考にして、教科会で単元展開を話し合っている。

3 地域素材の教材化について

A町は広島平和バス派遣事業など、様々な平和活動を行っている。生徒が地域の一員としてA町の平和活動を知り、将来町の財産を引き継いでいけるようになってもらいたいと願い、地域の平和活動を教材として扱おうと考えた。

4 子どもの変化

教科書各単元後半のReadの部分は比較的量の多い英文（Lesson 4のReadは222語）を読むので、毎回生徒はため息混じりになりがちである。今回は生徒の感想に「早くReadをやって、物語を知りたいと思った」とあり、内容に興味を持てるようになっていた。また、単元導入時に視聴したDVDのエンディングに流れた被爆者の写真に、「ちょっとグロい」という感想を書いた生徒が、「私は『グロいからいやだ』と言っていたのですが、やっぱりちゃんと見なきゃ、と思えました」と意識を変えることができるようになった。

5 おわりに

A町の財産を教材として扱うことができ、生徒も興味を持つようになってきた。広島と長崎の原爆は、悲劇であることは間違いないが、その悲惨さのみでなく、力強く復興した姿、あるいは人々の努力を伝えられるような教材も必要だと感じている。

1 前書き

本校で使用している英語の教科書には、異文化理解、地球温暖化や日本の伝統文化に関することなど、題材内容が多岐にわたっている。その中で、地雷問題（2学年）、広島原爆・スーダンの危機（3学年）などの単元を、平和に関する学習を行う特に大切な単元としてとらえている。教師用指導書を参考にだけでなく、UNICEF（ユニセフ）、WFP（世界食

糧計画)、難民を助ける会や ICBL (地雷廃絶国際キャンペーン) などから入手した資料や書籍を参考にして、教科会で単元展開をどう仕組むかを話し合っている。

3 学年の教科書、Lesson 4 “The Story of Sadako” についても、社会科の資料集や図書館の写真集などを使いながら授業を行ってきた。「原爆は恐ろしい兵器だ」「戦争は二度とおこらないでほしい」など、生徒はそれなりには考えてきた。しかし、身近に感じて考えているとまでは言えなかった。そこで、非核平和都市宣言をした地元 A 町の活動内容を単元の中に取り組み、生徒がもっと身近に、前向きに平和について考えられるようになるのではないかと、という期待をこめて授業を展開した。

2 研究の経過と概要

(1) 研究テーマ

英語科の授業における平和教育

～ 地域の財産を教材として活用することを模索して ～

(2) テーマ設定の理由

A 町は広島平和バス派遣事業を平成元年から開始し、小中学生を含めて、参加希望の町民が 8 月 6 日の平和式典に参加している。現中学生にも平和バス参加経験者が少なからずいて、A 町の平和推進事業が順調に進んでいるかのように見られる。しかし、実際には以下のようなことを多くの生徒が知らないまま、A 町で生活を送っている。

- 昭和 58 年に「非核平和都市宣言」を行い、平成 20 年には「平和都市加盟」を果たしている。
- 平成 22 年には、「A 町平和のかけはし条例」を制定している。
- 町内の公園には、被爆アオギリや被爆柿の木の 2 世などが植えられている。

これら町の平和活動は、地域の貴重な財産である。3 学年の教科書 Lesson 4 “The Story of Sadako” は生徒が平和について考えられる素晴らしい題材である。この単元を学習する中で、生徒が地域の一員として町の平和活動を知り、将来町の財産を引き継いでいけるようになってもらいたいと願い、上記テーマを設定した。

(3) 単元展開

時数	学習活動	学 習 内 容
1 2 3	DVD『広島 昭和 20年8月6日』 鑑賞	広島原爆を題材としたドラマを視聴する。
4	A 町の平和活動	・ A 町の平和活動について知る 「非核平和都市宣言」「平和都市加盟」 「被爆アオギリ・被爆柿の木」

5	広島原爆と 「消えた八月」 Le. 6 GET①	・現高校2年生が連合音楽会で歌った『消えた八月』を聴く。 DVDで見たドラマの場面を思い出しながら、原爆の破壊力と恐ろしさ（原爆症）について学習する。 ・文法：call A B 「AをBと呼ぶ」 make A B 「AをBにする」
6	Le. 6 GET①② 原爆ドームについて学習する	・世界遺産「原爆ドーム」と「広島平和記念資料館」 ・展示内容 ・文法：It ~ (for A) to ... 「(Aが)・・・することは～です」
7	Le. 6 GET②復習 Le. 6 USE-READ The Story of Sadako	・Le. 6 GET②の復習 ・“The Story of Sadako” の話全体の概要を把握する。 ・数字の読み方(August 6, 1945, 130,000)を確認する。
8	Le. 6 USE-Read The Story of Sadako ① ② ③	・教科書p. 40(① ② ③) の内容理解と音読練習 佐々木偵子さんは2歳で被爆 10年後に突然原爆症を発症
9	Le. 6 USE-Read The Story of Sadako ④ ⑤	・教科書p. 41(④ ⑤) の内容理解と音読練習 病気回復を願って千羽鶴を折るも、亡くなってしまった。 世界中の人が平和を願って鶴を折っている。
10	Le. 6 USE-Read のまとめ	・Le. 6 USE-Read の全体復習を行う。 In-Reading の問題を解く。 ・Le. 6 USE-Listen から文法の要点までの問題を解く。
11	We're Talking 4 リスニングテスト	・'Why don't we ~?' 「～しませんか」の用法を学ぶ。 ・Le. 4 の学習内容に関するリスニングテストを受ける。
12	単元テスト	・Le. 4 の学習内容に関する単元テストを受ける。

3 実際の授業の何時間かを振り返っての考察

(1) 第4時間目、「A 町の平和活動 ‘A Citizens Love Peace’」の流れ
別紙学習資料に沿って授業を進めた。

<p>1 導入部分</p> <p>T: Have you ever heard of these words, 'No More Hiroshima' and 'No More Nagasaki'?</p> <p>'Yes', raise your hands please. ほんの数人が挙手。</p> <p>Aさん: No more ... もうないって・・・、広島がない?</p> <p>T: 広島がないんじゃないくて、広島や長崎の原爆の悲劇がもうこれ以上ないように、っていう意味の言葉だよ。Do you understand?</p> <p>Aさん: あ～あ。Yes.</p> <p>T: Then look at these pictures. Have you ever seen them?</p> <p>(教室のテレビに被曝アオギリ2世と被曝柿の木2世の写真を写す)</p> <p>生徒多数: No.</p> <p>T: (前の席にいる生徒に柿の木を示して) Look at this picture. What is this?</p>

Bさん: Tree.

T: What kind of tree? We know. A町の名産。

Bさん: 柿。

Cさん: Persimmon.

T: Yes. It is from Nagasaki. It is a 'Hibakukakinoki'. And this is from Hiroshima. It is a 'Hibakuaogiri'. We can see them in Maruyama park. People in A town love peace.

Dさん: 原爆の木。あ～、聞いたことある。

2 'T Atown Citizens Love Peace'の展開

T: There were so many tragedies during WWII. と始めて、We must remember those times.

真珠湾奇襲、広島・長崎原爆投下、終戦の日の日付を板書。

'December 8, 1945' が何の日か分からない生徒がかなりいた。

Look at this picture. (原爆ドームの写真) What is this? ~多くの生徒が原爆ドームを知っていた～ Yes. It is the Atomic Bomb Dome, *Genbakudomu*. It is a World Heritage Site, *Sekaiisan*. More than 200,000 people were killed by the atomic bombs in Hiroshima and Nagasaki. We Japanese know how terrible nuclear weapons, *kaku-heiki*, are. And listen. People of A town love peace. (板書) They demonstrated their will with a peace declaration in 1983. And they also grow a 'Hibakuaogiri' and a 'Hibakukakinoki' for peace.

以後、学習資料を配付してA町の平和宣言や被爆アオギリなどについて説明。

T: A town citizens love peace and do many things. You, as A town citizens, must know about them. Please remember these activities and take part in them.

3 Atomic Bombs

T: Why did America drop the Atomic bombs?

生徒: 戦争を早く終わらせるため。／兵器の実験。／日本が降伏しなかったから。

T: いろんな理由があるけど、戦争は何でもあり、だから。

ちなみに広島原爆がウラニウム型、長崎原爆がプルトニウム型で、(Little BoyやFat Manの名称は生徒から出てきた)マンハッタン計画・・・原爆製造プロジェクトの科学者達は、広島型は成功すると自信満々で、長崎型はクエスチョンだったらしい。放っておいたって日本が負けることは分かりきっていたけど、まあ、驚愕の(20億ドル以上もの)予算をかけて作った兵器を飾っておくわけにはいかなかったでしょ。それと戦争後の日本占領を巡って、ソ連へのアピールも必要だったし。

・・・その他、いくつか原爆に関わる話をした。・・・

4 まとめ

T:Now we are going to study about Sasaki Sadako. When she was two years old, the atomic bomb was dropped on the city of Hiroshima. She was there. Fortunately, she survived. But ten years later, when she was twelve, she suddenly became sick, *hakketsubyo*. The doctors thought that her sickness came from the atomic bomb.

Sadako thought, "If I make one thousand paper cranes, *senbazuru*, I can get well."

So she tried to make one thousand paper cranes. She made them, but then she died.

Many people around the world have heard her story and make one thousand paper cranes and send them to Hiroshima. Look. (原爆の子の像の写真) This is called *Genbakunokonozo*. Sasaki Sadako was the model of this statue. It stands in Hiroshima Peace Memorial Park. We will read her story and study the importance of peace.

(2) 生徒の感想

① DVD『広島 昭和20年8月6日』を視聴して

英語科職員の強い希望により、Lesson 4 導入時に、全クラスで3時間かけてドラマを視聴することにした(英語の授業にもかかわらず、音声は全て日本語)。こちらが驚くほど、生徒はしっかりとドラマを見ていた。

今日、英語で広島原爆のDVDを見ました。3時間のDVDでしたが、全部見る事ができました。泣きたかったけど泣けなくて、家でもう1回見たいと思いました。最後の方はグロい写真とか出てちょっとやばかったです。でも、3姉妹の話は本当に感動しました。

今日は4時間目に英語で広島DVDを見ました。3姉妹の話で、何日?か何か月前?から原爆が落ちるまでの話でした。今日見たのは原爆が落とされる5か4日くらい前からの話で、2番目のお姉ちゃんに赤ちゃんができたところ、原爆が落とされました。ちょっとグロいけど、見ていろんなことがわかったのでよかったです。

今日は広島DVDを最後まで見ました。だんだんと8月6日8時15分に近づいていくにつれて、ソワソワしました。そして、とうとう8月6日になりました。1つひとつの行動に対して、「これがさいごなんだなあ・・・」と自分で思いながら見ていました。そして爆発は一瞬でした。一瞬でたくさんの命がうばわれました。大きな黒い雲がもくもくと立ち、黒い雨がザーザー降りました。石に人の影がうつったままのものが残りました。とてもかわいそうでした。生き残った人は、亡くなった人たちの分まで生きないといけないという大切さがわかりました。生きねばならぬのです!!

【考察】

- 主人公の一人が、原爆のために石に黒い影になって残ったシーンに、多くの生徒が息をのんでいた。
- エンディングに当時の写真が流れたが、被害者の姿に、「グロい」との感想を持った生徒もいた。ある意味では、正直な反応とも言えるが、ここからどう気持ちが変わっていくかに注目したい。

② A 町 Citizens Love Peace を学習しての感想

<p>原爆は怖い物だと思う。二度と同じような過ちを犯してはいけないし、（原爆を）作ってもいけないと思う。（原爆に実際にあった人が）生きているうちに、1度は広島、長崎に足を運んでみたい。世界が平和になってほしい。</p>
<p>いろいろと聞いて良かった。被曝の木がA町の身近なところにあるということも知らなかった。どちらも悪いですが、やっぱり戦争よりも人間が一番怖いですね。</p>
<p>悲惨な出来事なのに、表面上のことしか知らなかった。丸山公園に（被曝の）木があることを初めて知った。もっと目を向けたい。</p>
<p>映画を見て、話を聞いて、原爆の恐ろしさを初めて知った。（人が）一瞬で消えてしまうのはかわいそう。死んでしまうのもかわいそう。被爆者全員がかわいそうと思った。放射線は「急に病気になる」ということを知って、今まで「たいしたことじゃない」と思ってたけど、恐ろしいものだと思って驚いた。平和って大切だと思った。</p>
<p>A町に被爆アオギリや柿の木があることを初めて知った。今、人類を何回も絶滅させられるほどの核兵器が世界にあることは恐ろしいと思った。それに対して、A町が平和宣言をしていることはいいことだと思った。</p>

【考察】

- ほとんどが教師からの情報提供のような形になってしまった。それでも、A 町の平和を願う活動や貴重な財産（平和都市宣言、被爆アオギリ 2 世や被爆柿の木 2 世など）について生徒に情報を発信することはできた。
- 原爆のことを知っているようで実はあまり知らなかった、と自分自身を振り返ることができた生徒がいた。

③ 『消えた八月』を聞いて始まった授業の感想

<p>今までは広島であったことは詳しく調べていなかったから分からなかったけど、この授業でいろいろ知れてもっと知りたいと思うし、本も読みたいし、広島に行ってみたいと思った。</p>
<p>原爆の恐ろしさ、破壊力などがすごくわかった。平和の大切さが、『消えた八月』からもすごく伝わった。</p>
<p>真っ黒な弁当箱と三輪車と・・・人、なんかありえないようなことだけど、実際本当に起きていることなんだと思うと、胸が痛んだ。『消えた八月』がこんなにも悲しい曲だとは知らなかった。</p>
<p>お弁当箱のお米と同じことが人にも起きていると思うと恐ろしかった。原爆のことを学習するにつれて、『消えた八月』の内容が理解できてきた。三輪車に乗っていた子とか想像すると、悲しい。</p>
<p>真っ黒に焼けてしまったお弁当箱や三輪車の写真を見て、改めて原爆の恐ろしさを思い知らされました。また先輩が『消えた八月』を歌っていて、この詞の意味を考えた上で、こんなにうまく歌えるんだな、と思いました。</p>
<p>自分も戦争のことについて深く考えながら授業を受けることができました。私は「グロイからいやだ」と言っていたのですが、やっぱりちゃんと見なきゃ、と思えました。</p>
<p>早く Read をやって、物語を知りたいと思った。調べる時があれば、やってみたい。</p>

【考察】

- 最後の2人の感想が嬉しかった。目を背けてはいけない現実気づいてくれた点は成果と言える。『消えた八月』は先輩が歌った歌のCD、というアピールも生きた。

(3) 単元を終えての反省

- 生徒は広島・長崎に落とされた原爆の恐ろしさを学ぶことを通して、核兵器の恐ろしさを知ることができた。しかし、積極的に平和活動に取り組んでいこうとする姿勢が持てるまでには至らなかったと思う。
- A町の平和活動を扱ったのが単元前半だけになってしまい、後半はほとんど触れることもなかった。生徒の意識が十分深まらなかった原因の1つだと思われる。
- A町の財産を教材として扱うことはできたが、ただ情報を羅列しただけの感じがする。学習資料を、誰が扱っても分かりやすく説明できるように作り直したい。
- 広島と長崎の原爆は、悲劇であることは間違いないが、その悲惨さのみでなく、力強く復興した姿、あるいは人々の努力を詳しく伝えられるような教材も必要だと感じている。
- 原爆症の治療にあたった医療関係の人々の努力や、核兵器廃絶に向けて粘り強く活動が続けている人々の姿なども扱うべきではあろうが、10数時間の単元ではやりきれない。国語や社会など、他教科との連携を図る必要がある。

資料

1 授業で配布したプリント

Lesson 4 Introduction

C i t i z e n s o f T a k a m o r i L o v e P e a c e

Have you ever heard these words, "No More Hiroshima" and "No More Nagasaki"? There were so many tragedies during World War II. The dropping of Atomic Bombs on Hiroshima and Nagasaki was one of them. We must remember these dates.

December 8, 1941: Pearl Harbor

August 6, 1945 : Hiroshima

August 9, 1945 : Nagasaki

August 15, 1945 : End of the War

More than 200,000 people were killed by the atomic bombs in Hiroshima and Nagasaki. We must not forget the tragedy and we have to pursue peace. The people of A town demonstrated their will with a peace declaration in 1983.

平和宣言【昭和 58 年 3 月 23 日制定】

世界の核をめぐる情勢は極めて緊迫の度を極め、核軍備増強、核配備により、核戦争への不安は全世界の脅威となっている。

第二次世界大戦において、人類史上かつてない原爆の惨禍を受けた我が国は、戦争の放棄と恒久平和を日本国憲法で高らかに宣言している。

今や日本国民は、全世界の平和を希望する人々と共に、人類永遠の平和を樹立する努力をしなければならない。

全人類が核による破滅の危機に立たされている現在、非核三原則を堅持するとともに、あらゆる国の核兵器の使用に反対し、安全で住みよい町づくりの実現のため、ここに全町民とともに、核廃絶への決意を宣言する。『A町の教育』p.94

Every summer, some people from A town , including junior high school students, visit Hiroshima on August 6. They take part in the Hiroshima Peace Memorial Ceremony.



There are some parks in A town.
Maruyama park is one of them. We can see
some trees from Hiroshima and Nagasaki on the
hill called 'peace' in the park. They are 被爆ア
オギリ, 被爆柿の木 and 被爆クスノキ.

← 被爆アオギリ 2 世



↑ 被爆柿の木 2 世



← 被爆クスノキ 2 世

2 参考資料及び参考文献

(1) 映像及び音声資料

『広島 昭和 20 年 8 月 6 日』 DVD (TBS 系列、涙そうそうプロジェクト、2005 年)

『消えた八月』 柴谷温子作詞 黒沢吉徳作曲

平成 23 年度下伊那郡市連合音楽会 CD (下伊那教育会編)

(2) 参考文献

『平成 25 年度「A 町の教育」』 A 町教育委員会

井伏鱒二 『黒い雨』 新潮社

オリバー・ストーン&ピーター・カズニック 『オリバー・ストーンが語る もうひとつの
アメリカ史 1 2つの世界大戦と原爆投下』 早川書房

早乙女勝元 『東京大空襲 一昭和 20 年 3 月 10 日の記録一』 岩波新書
ジョン・ダワー 『敗北を抱きしめて』 岩波書店
ジョン・ハーシー 『ヒロシマ』 法政大学出版局
中沢啓治 『はだしのゲン』 汐文社
野坂昭如 『一九四五・神戸』 中央公論社
古川愛哲 『原子爆弾投下は予告されていた 国民を見殺しにした帝国陸海軍の「犯罪」』
講談社
松谷みよ子作 司修画 『ふたりのイーダ』 青い鳥文庫
ロナルド・シェイファー 『アメリカの日本空襲にモラルはあったか』 草思社
渡邊稔 『アメリカの歴史教科書が描く「戦争と原爆投下」』 明成社